

メダカの産卵床



メダカが卵を産み始めるときに、山形ではまだホテイソウが手に入らないということがある。また、ホテイソウは寒さに弱く、水中で枯れてくるとその処理が以外に面倒である。

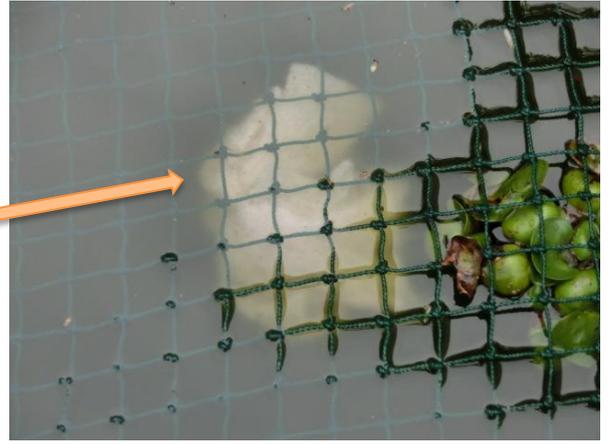
そこで、人工の産卵床として、学校であればどこにでもあるのではないかとと思われる水槽の濾過装置に使われる使い古しの濾過フィルターで産卵床を作ってみた。濾過フィルターのよさは、加工がしやす



いこと、細かな繊維の集合体であるため、メダカが卵を産み付けやすいと思われること、ある程度水に浮くことだと考えた。

濾過フィルターを適当な長さに切り、2本程度をまとめて真ん中を釣り糸で縛る。両端から濾過フィルターにいくつか切り込みを入れてメダカが隙間に入りやすくした。

あとは、メダカを飼育している池に投げ込んでおくだけである。



拡大したところ



メダカ池に投げ込んで数日後、たくさんのメダカの卵が付いていた。

ホテイソウの根に付いている卵を見つけるよりも見つけやすいようである。